

第七十一回帝國議會
衆議院

船員法改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十二年八月二日(月曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 漢那 憲和君

理事岡野 龍一君 理事長井 源君

理事高橋 泰雄君 理事田代 正治君

野田文一郎君

前田房之助君

星島 二郎君

石坂 繁君

小山 亮君

小柳 牧衛君

小谷 節夫君

山崎 常吉君

米窪 滿亮君

七月三十一日通信事業特別會計ニ於ケル簡

易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

企畫廳次長 井野 碩哉君

大藏參與官 中村三之丞君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

逓信政務次官 田島勝太郎君

逓信參與官 犬養 健君

逓信省管船局長 小野 猛君

逓信省經理局長 手島 榮君

簡易保險局長 伊勢谷次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船員法改正法律案(政府提出)

通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出)

○漢那委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本

委員會ニ併託ニナリマシタ通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案ヲ議題

ニ供シマシテ、政府當局ノ説明ヲ要求致シマス

○中村政府委員 本案提出ノ理由ニ付キマ

シテ簡單ニ御説明ヲ申上ゲマス、新設省

ノ設置ニ伴ヒマシテ、簡易生命保險及郵便年金ノ兩事業ハ同省ニ移管セラル、コト

トナリマシタル所、募集及ビ維持ニ關スル

現業事務ハ差向之ヲ逓信省ニ委託致シマシ

テ、郵便官署ヲシテ取扱ハシムルコトヲ以

チマシテ便宜デアリ、且又經濟的デアルト

認メルノデゴザイマス、隨ヒマシテ右現業

事務及ビ之ニ伴ヒマスル管理事務ハ、別途

勅令ヲ以チマシテ、逓信省及ビ逓信大臣ノ

管理ニ屬スル官署ニ於キマシテ取扱ハシメ

ルコトニ規定セラル、見込トナッテ居ルノ

デゴザイマス、隨テ是ガ事務取扱ニ要シマ

スル經費ハ總テ通信事業特別會計ノ所屬ト

致シマシテ、是ガ經費ノ財源ハ簡易生命保

險及ビ郵便年金ノ兩特別會計ヨリ、通信事

業特別會計ニ繰入ヲ爲スノ必要ガアルノデ

ゴザイマス、是ガ本法ヲ制定シヨウトスル

理由デゴザイマス、此段御説明申上ゲマシ

タ次第デゴザイマス

○漢那委員長 此際御諮リ致シタイコトガ

アリマス、船員法ノ質問ハ既ニ終了致シタ

ノデアリマスガ、小山亮君カラ水先人ニ關

スルコトデ簡單ナル質問ヲ許シテ貰ヒタイ

ト云フ要求ガ出テ居リマスガ、許シテ差支

ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○漢那委員長 ソレデハ之ヲ許シマス、簡

單ニ願ヒマス——小山君

○小山委員 簡單ニ質問致シマスガ、現行

船員法ノ規定ニ於テ、一般船員ト云フモノ

ノ解釋ハ船長以下乗組員ト云フコトニナッ

テ居ルヤウデアリマス、隨テ本法適用ニ對

シ、昔ハ船員デアッテ現在ハ水先業ニ從事

シテ居ル者ニ對シテハ、ヤハリ船員法ニ準

ジテ御取扱ニナリマスガ、其點ヲ伺ヒタイ、

更ニ二重刑罰問題ニ對シテヤハリ同様ニ苦

痛ヲ受ケルノガ水先業者デアリマスガ、之

ニ對シテ刑法ノ改正ニ際シマシテ、ヤハリ

水先人ニ對シテモ二重刑罰ノ撤廢ノ爲ニ刑

法改正ノ御意思ヲ司法當局ハオ持チニナリ

マスガ、其點モ伺ヒタイ、又モウ一ツハ現

在ノ海員懲戒法ノ改正ノ御意思ガ逓信省ニ

オアリノヤウニ、逓信大臣ノ過日ノ言明ニ

依ッテ拜承シマシタガ、懲戒法改正ニ當リ

マシテハ、ヤハリ水先人ニ對スル所ノ所罰

等モ考慮ニ入レラレテ、同様ニ之ニ對スル

所ノ懲戒法ヲ水先人ニ適用ニナリマスガ、

其點モ御伺致シタイノデアリマス

○小野政府委員 第一點ノ水先人ヲ船員ニ

準ジテ取扱フカト云フ御質問デアリマスル

ガ、性質上ハ水先人ハ船員デハナイノデア

リマス、併シ實際ノ色々ナ法規ヲ見マシテ

モ、大體船員ト同ジヤウナ立前デ立法シテ

居ルノデアリマス、例ヘバ海員懲戒法ヲ見

付託議案

船員法改正法律案(政府提出)
通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出)

テモ、船員ト殆下同様ニ懲戒法ヲ適用シテ居ルヤウナ關係ニアルノデアリマス、將來トモ船員ト水先人トハ大體之ヲ同様な性質ノモノトシテ取扱ヒタイト考ヘテ居リマス、第二點ハ司法省ニ對スル御尋デアッタノデアリマスガ、第三點ハ、今ノ第一點ノ答辯デ大體「カバー」シテ居ルト思ヒマスルガ、將來海員懲戒法ヲ改正スル場合ニ於キマシテハ、勿論水先人モ船員ニ準ズルモノトシテ取扱ヒタイト心得テ居ル次第デアリマス

○小山委員 司法省ノ誰カ居リマセヌカ

○漢那委員長 今呼ビニヤリマス

○星島委員 其間ニ一寸伺ヒタイト思ヒマス……

○漢那委員長 成ベク簡單ニ願ヒマス

○星島委員 此間私ハ文部當局ニ御尋シタノデスガ、丁度私ハ午後差支ガアッテ居ナカッタノデアリマスガ、モウ一度、現在船員ノ不足ガ大體下ノ程度デアルカト云フ見當ガアリマスレバ、遞信當局カラ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ今年度ハ一體ドレ程造船噸數ガアルカ、或ハ今年末頃マデニハ何噸位船ガ出來ルノデアリマスカ、其噸數ニ付キマシテ、一寸參考ノ爲ニ伺ヒタイト思ヒマス

○小野政府委員 後ノ點カラ御答シタ方ガ都合ガ好イト思ヒマス、只今御承知ノヤウニ造船熱ト申シマスカ、非常ニ是ガ旺盛デアリマシテ、新造船ノ注文ガ殺到シテ居ルヤウナ次第デアリマス、私ノ今記憶スル所ニ依リマスルト、此一月カラ暮マデニ千噸以上ノ船ガ四十七萬噸出來ル、百噸以上ノモノニ付テ見マスト五十一萬噸位ニナッテ居リマス、年内ニ約五十萬噸内外ノ船ガ出來ルト思ヒマス、是ハ歐羅巴大戰當時ニモ匹敵スルヤウナ多クノ船腹ガ市場ニ出ル譯デアリマス、今カラドノ位出ルカト云フコトデアリマスガ、此七月頃カラ年内ニ約三十萬噸位殘ッテ居ルト思ヒマス、來年ノ上半期ニハ二十四萬噸位ノモノガ出來マスノデ、相當船腹ハ是デ整ッテ來ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ、第一點ノ御尋ノ船員ガドノ位不足シテ居ルカト云フコトニ觸レルノデアリマスルガ、相當不足狀態ニア

ルノデアリマス、特ニ御尋ノ公立商船學校等ヲ出マス高級海員ノ方ニ、割合ニ不足ノ度ガ濃厚ニ見エマスルノデ、先頃遞信大臣モ御答辯致シマシヤウニ、此議會ニ高級海員ノ臨時養成ニ關スル豫算マデ計上シテ提出致シテ居ル次第デアリマスガ、此狀態デ推進ムコトニナリマスレバ、相當船員ノ不足ガ現レテ來ルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○星島委員 今デモ不足ナノガ、是カラ相當以上ノ噸數ガ出テ出ルヤウデアリマスガ、サウスルト高級船員ガ大變不足スルコトニナルト思ヒマスガ、ソレガ何名ト云フコトガ分ラナイデセウカ、ソレデ現在ノ公立商船學校ガ多クハ地方府縣費デヤッテ居ル爲ニ、文部當局ハ之ヲ中央ニ統制ショウト云フ考デ、一面カラ言ヘバ大變結構ナコト、思フノデアリマス、併シ地方ニ於テ之ヲ廢合シツ、サウシテ一方デハ臨時ニ又船員ヲ養成スルト云フコトハ、非常ニ國家トシテハ矛盾ガ多イト思ヒマスガ、何カ此間ニ遞信當局ト文部當局ト特別ニ談合サレマシテ——一方ハ折角設備ヲ持ッテ居ッテ、而モ其縣々々ニ於テハ大變ナ金ヲ掛ケテ、地方有志ガ金ヲ寄附シテ造ッテ居ルモノヲムザムザ減ボシテ、一方デハ又新シク費用ヲ掛ケテヤルト云フコトハ吾々ドウシテモ諒解ガ出來ナイ、私ハ文部當局ニ伺フ機會ガナイノデ残念デスガ、ドウゾ——遞信當局ノ御方針ハ私共洵ニ満足スルノデアリマスガ、文部當局ト一ツ協議セラレマシテ、既存ノモノヲ有效ニ利用スルコトニ一ツ御努力アラシコトヲ希望シテ私ノ質問ハ打切り

タイト思ヒマスガ、參考ノ爲ニ、ドノ位船員ガ不足シテ居ルカ、ソレカラ其船員ト云フ中ニ、例ヘバ通信技師、無線技術員ノヤウナ者ヲ養成シテ居ルモノガ十分アルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○小野政府委員 ドノ程度ニ足りナイカト云フコトノ的確ナ見透シハナイノデアリマシテ、實ハ今陸上ニ居ッテ他ノ業務ニ就イテ居ル者モ出テ來マシタリ、ソレカラ大キナ會社デ豫備員ヲ持ッテ居ル者ガ出テ來マシタリ、ソレカラ支那ノ船ニ乗ッテ居ル者モアリマスシ、色々アリマシテ、實際問題トシテハ中々的確ナコトモ申上ゲラレマセヌガ、一應私ノ方デ作リマシタモノヲ申上ゲマス、是ハホンノ机上ノ計數デアリマスガ、十二年ニハ特ニ機關部ノ方ガ足りナイト思ヒマス、百八十名位足りナイ、十三年ニナリマス、甲板部ガ二十名位、機關部ガ二百名位、十四年ニナリマス、ト供給ガ出來マスノデ、甲板部十名、機關部二十名、斯ウ云フヤウナ數字ヲ出シテ見テ居ルノデアリマス、是ハ一應ノ基礎ニナッテ居ルノデアリマスガ、實際ハ斯ウ動クカドウカト云フコトハ中々問題デアラウト思ヒマス

ソレカラ通信技術員ノ方デアリマスガ、

是非非常ニ不足ヲ感ジテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテモ私共ノ方デ適當ニ用意ヲ致サナケレバナナイト云フコトデ、實ハ日黒ニ私立ノ無線電信學校ガアルノデアリマスガ、ソレノ擴張ヲ此二月頃カラ行ヒマシテ、適當ナ増員養成ヲ今ヤッテ居リマス、ソレガ出マスレバ或ル程度ニ緩和スルノデハナイカト心得テ居ル次第デアリマス

○漢那委員長 小山君ノ御質問ニ對スル司法當局ノ答辯ハ午後ノ會議ニ求メルコトニ致シマス、午後ハ一時半ニ開會致スコトニシタイト思ヒマス、暫時休憩ヲ致シマス

午前十一時十二分休憩

午後二時十七分開議

○漢那委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、小山君ノ質問ノ中殘ッテ居リマスル司法當局ニ對スル質問ノ答辯ヲ求メルコトニ致シマス

○松阪政府委員 水先案内人ニ付キマシテモ、固ヨリ海上ノ特別交通ニ從事スルノデアリマシテ、一般船長等ノ場合ト特殊事情ニ於テハ人體ニ於テサウ變ル所ハナイノデアリマス、船長等ニ對シテ刑法上ノ過失責任ニ付テ特殊ノ扱ヲスルナラバ、是亦同様

ニ考慮シナケレバナラスコトグラウト思ヒマス、若シ刑法改正ノ際ニ船長等ニ對シテ除外規定ヲ設ケルト云フコトニナレバ、當然又水先案内等ニ付テモ同様ノ規定ヲシナケレバナラスト存ジマス

○漢那委員長 是ヨリ討論ニ入リマス、討論ハ通告順ニ依ッテ之ヲ御許スルコトニ致シマス——長井君

○長井委員 本案ニ付キマシテハ、前回ニ於テ本案ニ付シマシタ附帶決議ト同様ノ決議ヲ付シマシテ、可決致シタイト存ジマス、即チ其附帶決議ハ

附帶決議

一 政府ハ海運ノ重要性ト船員ノ特殊性トニ鑑ミ刑法ヲ改正シ船員ガ著シク其ノ職務ヲ怠リタルコトニ因リテ生ジタル過失ニ非ザレバ罰セザルヤウ之ヲ法文化スベシ

二 政府ハ船員ノ業務上ノ過失ニ對シテ海員審判所ノ審判後ニ非ザレバ刑事訴追ヲ爲サル方針ヲ採ルベシ

三 政府ハ船員ノ業務上ノ過失ニ對シテハ慎重ナル態度ヲ以テ臨ミ輕々ニ之ヲ處斷セザルヤウ檢察當局ニ對シテ訓令ヲ發スベシ

四 政府ハ海難ニ際シ船員ノ喚問取調ヲ

爲スニ當リテハ其ノ業務ニ支障ヲ來サザルヤウ十分ニ理解アル態度ヲ以テ臨ムベク檢察官ニ訓令ヲ發スベシ

ト云フノデアリマス、右申述べマシタ意見ハ、各派ノ賛成ヲ得マシタ共同提案デアルコトヲ申添ヘテ置キマス

○高橋委員 私ハ只今長井君御提議ノ附帶決議ヲ付シテ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、實ハ私共今回御提案ニナッタ船員法改

正案ニ對シマシテハ、先般當委員會各委員カラ御指摘ニナリマシタヤウニ、非常ニ澤山ノ不滿ヲ持ッテ居ルノデアリマス、政府ニ於カレマシテハ成べく近キ將來ニ於キマシテ、只今御提議ニナッタ附帶決議ヲ實現

セラレルト云フ御言明ヲ伺ヒマシタノデ、姑ク此言明ニ信頼ヲ致シマシテ、而シテ一面政府ガ誠意ヲ以テ此熱心ヲ要望ニ副フヤウニ努力セラレルトコトヲ、此機會ニ於テ更ニ政府ニ要求ヲ致シマシテ、長井君ノ御提議ニ賛成ヲ表シタイト思ヒマス

○山崎委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、一應本案ニ對シテ賛成意見ト、又將來ニ對スル改正ノ希望ヲ申述べタイト思ヒマス、只今長井君ノ御言明ニナリマシタ四項目ノ附帶決議ヲ付ケマシテノ可決ニハ異議ゴザイマセヌ、唯本案ニ對シテ遺

憾ト思ヒマスノハ、第七十議會ニ於キマシテ相當ノ反對意見乃至修正意見ガアッタニモ拘ラズ、當局ハソレヲ參酌セズニ、再ビ第七十一議會ニ提案ナサッタト云フコトニ對シテ不滿ヲ持ッ者デアリマス、其不滿ノ大體ノ概略ハ、上級船員ノ二重刑罰ニ對シマスル緩和ハ、只今長井君ノ附帶決議ニ依ッテ圖ラレテ居リマス、下級船員ノ間ノ不滿ノ點ハ、此法案ノ中ノ第二十四條、第二十五條、第二十六條、第六十條——是ハ實ハ一々此箇條ニ付キマシテ分析シテ、不滿ト又是デ宜イト云フ點ニ付テ申述べサセテ戴キタイト思ヒマシタケレドモ、時間ヲ省キマス點カラ、大體此法文ノドウ云フ所ガ氣ニ入ラナイカ、ドウ云フ所ガ改正シテ貫ヒタイカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、過日ノ委員會ニ於キマシテ米窪サンカラ縷々述べラレタコトデアリマスカラ、是ハ省キマスガ、今申上ゲマシタ條々ニ付キマシテ不滿ノ點ガゴザイマス、永井遞信大臣ハ御説明ノ時ニ、業者デアル所ノ船主側、使用人側デアル所ノ船員、或ハ其道ノ權威デアル所ノ學者ノ諸君、此三者ガ御協議ヲナサッテ出來タ案デアルト云フヤウナ御説明モゴザイマスケレドモ、其後上級船員ノ間カラモ、又一般下級船員ノ間カラモ、囂

尊ト之ニ對スル反對修正ノ意見ガアルト云フコトヲ考ヘマス時ニ、此點モ米窪サンガ述ベラレテ居リマスガ、十分専門的ニ協議ヲ遂ゲテ出來タ案デナイト云フコトハ否定ガ出來ナイト思ヒマス、是等ニ對シマシテハ當局ハ司法部或ハ遞信省、其他ノ方面ノ關係モアルカラ、結局今ノ場合斯ウ云フ工合ニナッタノダト云フヤウナ説明ヲ承リマスノデ、將來此法律ニ對シマシテ改正ヲ希望致シマス同時ニ、一般下級船員カラハ斯様ナ修正削除ノ意見ガアルト云フコトヲ、本會議デ委員長ガ御報告ヲナサル時ニ注意ヲシテ戴キタイ、斯様ナ意見モアッタト云フコトヲ述ベテ戴キタイ、私ハ斯ク一應ノ意見ヲ述ベマシテ、時節柄本案ニ對シマシテハ、先程ノ附帶決議ヲ認メマシテ賛成スル者デアリマス

○漢那委員長 只今ノ山崎君ノ委員長ニ對スル御希望ニ對シマシテハ、篤ト考慮シテ善處シタイト思ヒマス

○米窪委員 私ハ長井委員ヨリ各派共同ノ提案トシテ申サレタ所ノ附帶決議ヲ付ケテ、本案ニ賛成スル者デアリマス、一旦法律ガ制定サレト改正ハ中々困難デアルコトハ、八年前ノ臨時海事法令調査會ノ答申案ガ、其間ニ於テ海運界ニ非常ナル變化ガ

アルニ拘ラズ、何等改正サレテ居ラナイト云フ事實ヲ見テモ裏書ガ出來ルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ私ハ本案ガ改正サレタ後ニ於テ——一昨日私等ガ海員ヲ代表スル立場ニ立ッテ居ル所カラ御當局ノ所見ヲ求メタ點ニ付テ、中々急ニ改正ガ出來ナイト私ハ憂フルノデアリマス、所ガ幸ナル哉、私ノ不滿トスル點ノ中二三ノ點ハ、勅令ニ依ッテ施行細則ヲ制定スルト云フ途ガ尙ホ殘サレテ居リマス、私ハ施行細則ニ依ッテ、私ノ不滿ノ幾部分ガ私ノ希望通りニ改善サレレデハナイカト云フ望ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、聊カ其點ニ付テ私ハ希望ヲ付シテ本案ノ改正ニ賛成シタイト思ヒマス、御許シテ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ本改正法律案第二十二條規定ノ船ノ醫者ノ問題デアリマスガ、是ハ遞信御當局カラ戴

イタ施行細則要綱ニ依レバ、百人以上ノ乗組員及ビ船客ガ乗ッテ居ル船舶ト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレハ現在ノ事情カラ見テ、既ニ百人以上ノ船舶ニハ乗ッテ居ルノデアリマス、是ハ要ラナイ法規ヲ作ラントスルト同ジコトデアリマスカラ、私ハ之ヲ五十人以上ノ船客、或ハ乗組員ノ乗ッテ居ル場合カ、然ラズンバ二週間以上繼續シテ海上ヲ航行スル場合ニハ必ズ船醫ヲ乘

セルト云フコトニ、遞信當局ノ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ第二十四條ニアリマスル所ノ「已ムコトヲ得ザル事由」ト云フコトハ、先日私ノ質問ニ依ッテ、ソレハ現行商法ノ海商法第五百八十二條ノ精神ヲ延長シタモノデナイト云フコトガハッキリシタノデアリマスカラ、此點ハ施行細則ニ於テ然ルベキ方法ニ依ッテ明示シテ戴ケバ結構ダト思ヒマス、ソレカラ第二十五條ノ第二項ニ於キマシテ、船員ガ船ヲ下リル時ニハ其後任者ヲ提供シナケレバ下リルコトガ出來ナイヤウニナッタノデアリマスガ、今日ノ如ク軍事多端ノ時ニ徵兵サレルトカ或ハ簡閱點呼ヲ受ケルトカ、其他軍事ニ關係アル事由ニ依ッテ下リル時トカ、或ハ家族ニ病人ガアッテ急遽下船シナケレバナラスト云フ場合ニ於テハ、自ラ後任者ヲ提供シテ下リルト云フコトハ到底困難デアリマスカラ、是ハ施行細則ニ於テ、但書ノ方法ヲ以テ除外例ヲ御認め願ヒタイト思ヒマス、第二十六條及ビ第二十七條ノ契約期間ノ滿了後ニ於テ船員ガ尙ホ繼續シテ乗船シテ居ラナケレバナラナイト云フ義務ヲ規定サレテ居ル點モ、先程申上ゲタト同一ノ但書ヲ施行細則ニ於テ御決メテ願ヒタイト思ヒマス、最後ニ一昨日非常ニ多クノ質疑

應答ガアリマシタ米國ノ移民法ノ關係ニ依ッテ離船セシメラレタ船員ニ對シテハ、小野政府委員ハ御私見トシテ、ソレハ船主トノ間ノ雇傭契約ハ終了或ハ中斷スルモノデハナイト云フ御考デ居ラレルヤウデ、非常ニ満足致シタノデアリマスルガ、更ニ之ヲ確保スル意味ニ於テ、是モ施行細則ニ依ッテ、サウ云フ場合ハ本法ノ第三十條ヲ適用スルカ、然ラズンバ船員ハ送還サレテ日本ニ歸ル迄ハ乗船當時ト同様ノ支給ヲ受クルノデアアル、斯ウ云フコトヲ明白ニ御規定ニナッテ戴ケバ結構デアリマス、之ヲ要スルニ第二十二條、第二十四條、第二十五條、第二十六條、第二十七條及ビ米國移民法ノ關係ニ依ッテ起キタ場合ノ船員ニ對スル所ノ保護法規ヲ、施行細則ニ依ッテ御決定ニナラレルヤウ希望致シマス、若シ委員長ニ於テ御許ガ出來ルナラバ、委員長ノ御報告ノ中ニモ施行細則ニ關スルサウ云フ希望ガアッタト云フコトヲ附加シテ戴ケバ甚ダ幸ダト思ヒマス、以上ノ希望條件ヲ付シテ本案ニ賛成致シマス

○小山委員 第二控室ヲ代表シマシテ、本案竝ニ長井委員ノ提案サレタ所ノ附帶決議四箇條ヲ付シマシテ、私ハ賛成ノ意ヲ表シマス、從來法案ニ對スル所ノ附帶決議ト云

フモノハ、唯一片ノ形式ニ過ギナイヤウナ
感ガ深いノデアリマス、即チ議會デ如何ニ
審議ヲシ、之ニ對シテ決議ヲ付シマシテモ、
是ガ一片ノ空文ニナルト云フヤウナ感じヲ
私共ハ深く持ッテ居ルノデアリマス、是ハ
少クトモ議會政治ヲ尊重シ、議會ノ權利ヲ
伸張サセルガ爲ニハ、ドウシテモ此決議ト
云フモノニ對シテハ強く私達ハ其實行ヲ政
府ニ要求シナケレバナラヌト考ヘテ居ル、
故ニ此四箇條ノ附帶決議ト云フモノニ對シ
テハ、政府當局ハ十分ナル決心ヲ以テ、之
ガ實行ニ際シテハ誠意ヲ以テ責任ノアル所
ノ御處置ヲ願ヒタイト私ハ考ヘル、又此船
員法ノ改正ニ對シマシテ、最モ船員法ニ
依ッテ影響ヲ受ケマスル所ノ全國ノ高級船

員ハ一人残ラズ此法律ノ改正ニ對シテハ反
對ヲ致シマシテ、今尙ホ反對ノ氣分ガ強イ
ト云フコトカラ見マシテモ、如何ニ今回ノ
船員法改正法律案ト云フモノガ時代ノ進運
ニ伴ハザルモノデアルカト云フコトハ明白
ナノデアアル、併ナガラ私達ハ此法案ノ改正
ヲ試ミント致シマスレバ、ドウシテモ現行
刑法ノ改正マデニ涉ラナケレバナラヌト云
フ、非常ナル茲ニ惱ミガアリマスガ故ニ、
吾々ハ涙ヲ吞ンデ此決議ヲ付シタマケデ通
過スルコトニ賛成ヲシナケレバナラヌ立場

ニ立ッテ居ルノデアリマス、現行刑法ノ中
ニハ、私達ガ常識的ニ考ヘテ見マシテモ、
又特殊ノ業務ニ従事シテ居リマスル者ノ立
場ニ於テ之ヲ見マシテモ、全ク時代ニ懸離
レタ古典的ナ存在ノヤウナ刑法ノ條項ガ多
イノデアリマス、速ニ是ハ改正ヲセラレナ
ケレバナラヌコトハ言フ迄モナイ、デアリ
マスカラ此強イ決議ニ對シマシテモ、政府
ハ速ニ刑法ノ改正ニ向ッテ十分ナル努力ヲ
拂ハレンコトヲ併セテ希望ト致シテ申述ベ
マシテ、本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○漢那委員長 討論ハ終結致シマシタ、直
チニ採決ニ入リマス——先ヅ船員法改正法
律案ニ付テ決ヲ採リマス、原案ニ賛成ノ諸
君ハ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○漢那委員長 起立總員、本案ハ原案通り
可決致シマシタ——次ニ各派ノ共同提案ニ
係ル附帶決議ニ付テ決ヲ採リマス、此附帶
決議ニ賛成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○漢那委員長 起立總員、此附帶決議ハ決
定致シマシタ——本日ハ是ニテ散會致シマ
ス

午後二時四十分散會

昭和十二年八月二日印刷

昭和十二年八月三日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所